

未来を担う若き女性リーダーたち Mr. Houn Phorn (カンボジア)

アンコール王朝の時代、カンボジアの女性はコミュニティや社会で非常に活動的でしたが、現在はその当時と比較するとそれ程ではありません。女性が再びかつてのように活躍できる日が来ることを、待ち望んでいます。

カンボジアでは、女性はいまだに二流紙民であり、そのためにコミュニティや組織を率いるリーダーには適していないという考えの人たちがいます。しかし、例えばクラチェ州のメコン川沿いにある農村部のコミュニオンでは、女性解放に向けた強い意志を持つ女性たちが団結し、女性を鼓舞し新たな役割と機会を提供することを目的とした活動に取り組み始めました。このグループは女性ボランティアのネットワークを設立し、NGOの支援を得て小さなプロジェクトを開始しました。このプロジェクトは、女性が自信と能力をつけることで古い因習から脱却し、コミュニティにおける新たな役割を担えるようサポートすることを目的としています。

また地方分権により、村やコミュニオンのレベルで女性が新たな地位に就くことが可能となり、コミュニティ組織においてリーダーシップをとることが可能となりました。この他にも、徐々にではありますが、漁業組合、ヘルスケア・ボランティアのネットワーク、インフォーマルな政治的役職など、コミュニティの女性が社会的組織の中で新たな役割に取り組めるようになってきました。そして最初に団結した女性たちは、コミュニティ内の様々なレベルで活躍ができる「クリティカル・マス」へと発展しています。リーダーのグループは、自らの領域や家族との関係においてジェンダー・ロールを再形成してきましたが、同時に忍耐力と能力も求められました。さらに、家族の中でも変革を進めることで、彼女たちは夫に対して妻の公的な役割を受け入れ、前向きになるよう説得することができました。しかしながら、彼女たちは危機的状況に直面することもあります。具体的には、コミュニティが森林や水源といった資源へのアクセスを失うかもしれない、という危機に見舞われたことがありました。その時、彼女たちはコミュニティと住民のために立ち上がり、資源と権利を守るために相次いでイニシアティブを取りました。その結果、コミュニティの住民は女性を信頼できる真のリーダーとして認めるようになったのです。

また特筆すべき点は、この女性のリーダーたちは、政治的にそれぞれ異なる繋がりを持っているにもかかわらず、それが決して団結の妨げにはならなかったという点です。しかし、このような実績にもかかわらず、コミュニティではまた別の傾向も見られます。その傾向は、女性リーダーが自分たちのイニシアティブを推進し、住民を代表するという概念を実行に移す際に直面する困難さを、浮き彫りにするものです。新たな問題が次々と起こりコミュニティを悩ませているものの、それを短期間に解決する方法はありません。土地と資源の不足に多くの家庭が苦しんでいます。この危機に対処するための戦略には、ジェンダーに関連した重要な側面があります。特に、雇用を求める男女が、安全ではない形で移住を余儀なく

されるような場合です。このような場合、家族の絆は脆くなり、女性が子どもを見捨てざるを得ない状況に追い込まれたり、生活が立ち行かずに貧困に陥る危険のあるシングルマザーが増加したりします。また、少女たちが家政婦や労働者としてマレーシアやタイに出稼ぎに出るといった傾向が全国に広がっています。この状況に対し、女性リーダーたちは何の手だても持ち得ません。それは地方分権のプロセスが地域に移譲されておらず、このような問題に対処するための力も手段も不足しているからです。さらに、地域の女性リーダーたちが誠実さを持って住民の味方になろうとしても、リーダーシップのモデルには支援者に対する利益供与や腐敗のイメージが付きまとうため、それがコミュニティの女性から信頼を得る上で大きく影響しています。

また、制度的なジェンダー主流化の機運が高まりを見せていますが、その焦点は性差別の問題やジェンダー平等に向けた取り組みからシフトしつつあり、ジェンダーの問題を「女性と子供に関する問題」として捉え、ヘルスケア、育児、衛生状態、公衆衛生の面から解釈するという全体論的な考え方へと変わってきています。この考え方はさらに会議、研修、フォーラムなどを通じて広がりを見せていますが、その際に女性リーダーたちが女性の側に立った政策や戦略を練る際に役立つような、詳細な分析や批判的な視点が欠けています。

要するに、女性によるコミュニティ、社会生活、意思決定への参加という重要な成果を得るためには、女性を動員しネットワークを構築すること、さらに自信を培い差別に対する問題意識を高めることに重点を置く必要があるのです。女性のエンパワメントに向けた戦略を採用することで、女性たちは権利を行使し、法を執行する能力を高めることができます。しかしそれと同時に、新たな問題や課題に立ち向かうためには、これらの成果を確実なものとし、戦略を絶えず精査し練り直す必要があります。NGOや政府がカンボジアの女性に対する支援を強化すれば、彼女たちは男性と同様にコミュニティや社会でさらなる活躍を果たし、リーダーシップを発揮することができるでしょう。